



創立62周年

落六

学校だより……512号
令和2年12月 1日
<http://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai6/>
新宿区立落合第六小学校
校園長 加藤 雄一

『本物の体験』を生かして

校園長 加藤 雄一

日を追うごとに、学校の桜の木々は、染め上げた木の葉の衣を脱いで、春を待つ身支度を整えつつあります。もう冬はそこまで来ています。今年度初めての行事といえる『体育学習発表会』が終わり、令和2年度も後半を迎えています。アンケート等にお寄せいただいた声にも、子どもたちの成長や元気な姿をおほめいただくものがたくさんあり、うれしく思っております。

11月は、出前授業などがたくさんありました。

7日(土)には、伝統芸能鑑賞教室で、狂言師の和泉 元彌さんに来ていただき、低・中・高学年に分かれて、「狂言とは」というお話とともにワークショップも行いました。犬やニワトリの昔から伝わっている鳴き声や6年生の国語の教科書にある『柿山伏』を演じていただき、楽しい時間を過ごせました。伝統ある世界の中に生きる元彌さんの顔は、実に生き生きとしていました。『3回稽古したら、一生覚えていなければならない』という約束、『600年前の日本人の心を、今共有してもらっている』という言葉が印象に残っています。

28日(土)には、1月の展覧会に向けて、日本建築家協会中野会とのワークショップを行いました。5・6年生が8グループに分かれて大きな家を作りました。グループごとに話し合い、テーマを決めて作成しました。子どもたちの発想の豊かさに改めて感心させられた一日でした。作成の様子は展覧会で展示する予定です。

そのほか、「伝統文化—和妻」「ものづくり」「社会科—スーパー」「安全—西落合消防署」「生活科—哲学堂公園」「テレビ番組作り」などの体験学習や校外学習など、地域・その他の方に来ていただいたり、出かけて行ったりしながら、普段経験できないことをたくさん行うことができました。

今後も、様々な『本物の体験』を通して、子どもたちの『感性』を伸ばしていきたいです。

本校の子どもたちは、「自尊」感情をよりよく発揮できているのではないかと思います。「自尊」の意味としては、「自分を大切にし、品位を傷つけないようにすること」があげられます。自分で考え、自分なりのアレンジを加え、まさに「自分らしさ」を前面に出そうとしている子が多くみられるのは、うれしいことです。8月に始まった『おちろくDASH』、初めて行う『おちろくDASH Jr』。「できない」ではなく、「できることを」から始まったDASHですが、各班のテーマも決まり、本格的に動き出しました。

さて、12月10日は「世界人権デー」です。その人権デーまでの一週間を「人権週間」とし、世界中の人々が人権について考えるための機会としています。人権とは、「人が人らしく生きる権利」「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること」です。一見簡単そうに思えますが、一人一人が心からこの意味を理解していれば、人を傷つけたり、人の自由を奪ったりすることなどは起きないはずです。この機会に、ご家庭でも身近にある「人権」について話し合ってみてください。

保護者の皆様、地域の皆様、さらには本校の教育をご支援いただける各種機関の皆様と、来るべく新年に向けて、よりよく進んでまいりたいと思います。

令和2年度展覧会 今年の見どころ紹介

図工担当 杉山 聡

先日発行した図工便りにも記載しましたが、年明けの1月28日(木)～30日(土)に展覧会が開催されます。今年度の展覧会テーマは「今だからこそわくわくで楽しい展覧会を！～つながろう！落六小みんなの心の輪～」です。図工や家庭科の中でもものづくりをすることをきっかけに、身近な世界や人・ものと深くかかわることで、違う見方で物事を見たり、新たな価値に気付いたりできる展覧会にしたいと思っています。そこで、今年度は以下の3点を大事に、展覧会をつくっていきます。ぜひお立ち寄りください。

- ① **鑑賞活動を充実させます。** クラス鑑賞やおちろく班鑑賞だけでなく、今回は親子鑑賞にも力を入れたと思います。そこで今年度は開催時間を延長し、金曜日は19時まで開放することにしました。お仕事から戻られてから親子で展覧会を見たり、作品づくりの話を通して親子でより深くかかわったりする時間にいただけると幸いです。
- ② **保護者の方も地域の方もかかわれる展覧会にします。** 展覧会というと作品を見るという受け身の行事のようなイメージがあるかもしれませんが、今年の展覧会は作品を通して参観された方にもかかわっていただきたいと考えております。詳しくは今後の図工便りをご覧ください。
- ③ **「つながり」を意識した展示や作品づくりを行います。** 普段はなかなか出会うことのない職業の方と連携授業を行ったり、全校で一つの共同作品をつくったりと様々な「つながり」を大事に活動します。

4年生～伝統にふれる秋～

4年生は2学期に「伝統」について学ぶ機会がたくさんありました。

まずは、国語の「世界にほこる和紙」で世界遺産になった和紙について説明文で学び、さらに1人ひとりが選んだ伝統工芸について調べリーフレットづくりをしました。

また、社会科では「江戸小紋（染め物）」「地域に昔から伝わる祭り」についての学習をしたり、出前授業では「和妻」や「狂言」を鑑賞したりしました。

今、たくさんの「新しいもの」があふれている世の中で、子どもたちが伝統的なものに対して関心をもつのかどうか心配をしていましたが、4年生のみんなはとても熱心に話を聞いたり調べたりしていました。

「温故知新」という言葉がありますが、昔の物事の良さを知り、これからに生かしていけるような知恵を得る機会となったのではないのでしょうか。

【いろいろな伝統を学んで…子どもたちの感想】

○まさかあのテレビでやっていた和妻が自分の手でできるとは思っていなかったから、とてもびっくりしました。 T.R

○伝統工芸品を作っている人たちは、大変だけれど、作り終えたときは、うれしい気持ちになるんじゃないかと思いました。 S.R

○伝統の勉強をして、昔からいろんな人たちの協力や努力がされてきたものなんだなと思いました。 O.H

○伝統がなくなってしまうのはいやだから、私たちにできることがあるなら協力したいと、授業を受けて思うようになった。 F.K

○授業を受ける前は、「伝統」美しくきれい、すごいとただ思っていたけど、今はそれだけではなく、もっと私たちが大切にしていかなければならないと思いました。 O.K

○今度祭りに行ったときは、祭りを考えて、用意してくれた人のことを思って参加したいです。 A.T

○伝統工芸品がここまで続いてきたのは、後を継いだ人ががんばってくれたから、むだにしないで続けなければと思いました。 S.N

12月の生活目標

規則正しい生活をしよう

新型コロナウイルスの影響等により、お子様のことでご不安がございましたら、担任・養護教諭または管理職にご連絡ください。副校長 庖刀 由利子
電話番号 3565-0943

訃 報

昨年度まで本校職員だった 石倉 都 教諭が、4月30日にご逝去されていたことが分かりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



12月の行事予定

日	曜	行事など
1	火	避難訓練 個人面談⑥
2	水	
3	木	安全指導
4	金	おちろくDASH 5時間授業
5	土	土曜授業 味覚授業(6年) ビブリオバトル(3年)
6	日	
7	月	全校朝会 おちろくDASH Jr
8	火	プログラミング授業 (6年)
9	水	委員会
10	木	
11	金	音楽教育授業支援日 (6年) 5時間授業
12	土	
13	日	
14	月	全校朝会 おちろくDASH Jr 大掃除週間開始
15	火	
16	水	児童集会 クラブ
17	木	集団下校
18	金	おちろくDASH
19	土	土曜授業 手作りランプづくり (4年)
20	日	
21	月	全校朝会 おちろくDASH Jr
22	火	
23	水	おちろく班あそび クラブ
24	木	大掃除週間終
25	金	給食終 終業式
26	土	冬季休業日始
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

1月の主な行事

8日(金) 第三学期始業式 給食始

9日(土) 16日(土) 土曜授業日

12日(火) 新宿区学力定着度調査(2~6年)

13日(水) 席書会(3・5年) 委員会活動 専科始

14日(木) 席書会(4・6年) 身体測定(1,2,3年)

15日(金) 身体測定(4,5,6年)

28・29・30日(木・金・土) 展覧会